

三菱オゾン高度浄水処理設備

淀川の水をオゾン処理により、安全で良質な水道水として供給

尼崎市水道局殿 神崎浄水場（兵庫県）

処理水量：84,650m³/日

処理目的：臭気物質の除去、
有機物の酸化分解

オゾン発生量：4kg O₃/h(1台あたり)×3台

供用開始：平成10年7月

オゾンによる 高度浄水処理について

古くから阪神工業地帯の一角を担ってきた尼崎市では、水道の水源を上流に琵琶湖を持つ淀川から取水してきました。琵琶湖は日本一大きい湖で、近畿地方の大切な水源です。

しかし近年では、琵琶湖の汚れにより、毎年のように水道水にカビ臭が発生しており、また水道水をつくる過程で発ガン性のおそれがあるといわれているトリハロメタンが生成されることも問題となっています。これまでの水道水をつくる方法では、こうしたカビ臭やトリハロメタンを減らすことはできません。

そこで尼崎市水道局では、こうした問題を解決し、より安全で良質な水道水を供給するため、従来の方法にオゾン・活性炭処理を加えた高度浄水処理設備の運転を平成10年7月から開始しました。



神崎浄水場全景

オゾン処理棟



オゾン発生装置





制御盤



熱交換器



オゾン濃度測定装置



オゾンヘッダ・排オゾン処理塔



空気源ブロア



オゾン散気管



オゾン発生装置